



2023春闘号

(この新聞は組合員1人に1部配布です。)

じちろ

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03(3263)0273
FAX 03(5210)7422
定価一部30円1年間900円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

自治労は、2023春闘で「あなたの声ではじまる春闘」というスローガンを掲げています。身近な職場環境や賃金・労働条件の改善にむけた要求は、組合員一人ひとりの声で形づくられます。良質な公共サービスの維持・拡充と、そのサービスを支える労働者の処遇改善や担い手の確保にむけて、春闘をあなたの声からはじめましょう。



あなたの声ではじまる春闘

公共サービスが大事にされる社会へ



マシンガンス
滝沢 秀一

声をあげよう みんなの 幸せのために

お笑い芸人兼ごみ清掃員。2012年からはごみ清掃員としての仕事をはじめ、その体験や気づきをTwitterで発信。「このゴミは収集できません」(白夜書房)、「ゴミ清掃員の日常」(講談社)などの書籍も出版。

この10年間の清掃業務を通じて、とりわけ高齢社会の今、「ふれあい収集」などサービスの幅を広げ、質を高める必要があるのではないかと感じています。公共サービスの強みはその道のプロたちが各地域に行き届いたサービスを提供できるところにあると思っています。公共サービスが減る、あるいは、公共サービスに携わる人の数が減るといことは、地域の崩壊を招くことを意味すると考えるようになりました。一時期、「底辺職業ランキング」というものが話題になりました。残念ながらその上位には、清掃職員、介護士、保育士も名を連ねていました。仕事が大変な割に賃金が低い職業と言い換えられるかもしれませんが、人々の暮らしには不可欠な存在です。子どもを預けないと仕事にも行けないはずなのに、このように評価されてしまう世の中はおかしい。

働く人の善意ややりがいに甘えるのではなく、モチベーションを保つことができる、仕事の持つ社会的な価値に応じた報酬がきちんと支払われる社会でなければいけないと思っています。

けれども、こんな世の中だからこそ、みんなが言い出さなければ変わらない。声をあげよう。みんなが幸せになるために。一緒にがんばりましょう。



メイプル超合金
安藤 なつ

働く環境は サービスに直結 誇りを持って 声をあげて

お笑い芸人。中学生の頃からボランティアとして介護職に携わり、高校卒業後も芸能活動と並行して介護職に就く。ヘルパー2級(介護職員初任者研修)の資格を持つ。

介護現場を離れて約7年が経過しますが、それまで約20年間経験してきた介護の仕事は、私にとって大変楽しいもので、利用者の皆さんから多くのことを教わりました。一方で、専門職であるにもかかわらず、なぜそれほどまでに賃金が低いのか。そうした疑問は今でも消えることはありません。賃金が低く、人も足りなければ、現場の一人ひとりが抱える負担は重くなるばかりです。そのような職場環境ではサービスそのものが破綻してしまいます。介護職員は聖職者やボランティアではありません。また、代わりがいつでもでき職種ではないと思っています。

働く人が人間らしい生活を送ることのできる対価を得ることができる、気持ちの余裕を持てること。そのような環境があってはじめて、十分なケアワークを実践できることと考えています。働く自分たち自身を守り、専門的なスキルと積み上げてきた経験値をしっかりと発揮することのできる職場環境を整えるために、仲間と一緒に現場から声をあげていきましょう。

公共サービスに携わる皆さんは、一人ひとりの毎日を支えている大黒柱です。ぜひ誇りを持って声を大にしてください。応援しています。

2023自治労春闘の
行動予定

要求書提出ゾーン 2月 7日(火)~15日(水)
統一交渉ゾーン 3月13日(月)~17日(金)
全国統一行動日 3月17日(金)

自治労 3・17 全国統一行動

全単組において組合員が参加する全国統一行動を配置します。具体的には、民間はストライキ、公務は29分時間内食い込み集会を基本に、最低でも時間外職場集会やビラ配布行動等を行い、当局(使用者)に前進ある回答を迫ります。

2023春闘のポイント

すべての組合員は単組・県本部に結集し、2023春闘をたたかいます。

1 公務職場の賃金・労働条件の改善

すべての自治体単組において、職員の給与実態を十分に把握・分析し、単組として目標とする賃金の到達水準の確認を行うとともに、その実現にむけた具体的な運用改善について、少なくとも「1単組・1要求」を行い、労使交渉に取り組みます。

2 公共サービスに携わる人員の確保

業務量に見合わない人員体制が恒常化し、多くの職場で時間外労働や過重労働が深刻な課題となっています。人員配置の実態などの職場点検を実施し、安全衛生委員会での時間外労働の状況把握などを活用して、人員確保の要求・交渉を実施します。

3 中途採用者の処遇改善にむけた点検

初任給格付けの低さや昇格の遅れなどにより、同様の職務を担う職員に比べて給料が極端に低い実態が存在します。人材確保のためにも、すべての単組で総点検に取り組みます。同学年の新卒採用者の給与を基本として、昇格・昇給の改善を求めます。

4 会計年度任用職員の処遇改善と組織化

常勤職員との均衡・権衡をはかるため2020年4月に改正された地方公務員法の趣旨を十分に踏まえた処遇となっていない実態が見受けられます。自治体における同一労働同一賃金の実現にむけ、労働条件の点検と課題の洗い出しを行い、会計年度任用職員の処遇改善と組織化に取り組みます。

5 民間職場等の賃金・労働条件の改善

すべての単組・職場で賃金・労働条件改善の取り組みを行います。また、長時間労働の是正や法令遵守の観点から、36協定の締結・点検・見直し、年次有給休暇の100%取得を進めます。さらに、時間外労働の上限規制を含む改正労働基準法等の定着にむけた取り組みを強化します。



これらのポイントに取り組むとともに、公共サービスおよび公共サービス労働者の重要性と存在価値をさらに社会一般に浸透させるための取り組み「**公共サービスにもっと投資を!**」キャンペーンに積極的に参加します。

「公共サービスにもっと投資を!」キャンペーン

地域アピール行動

県本部は、本部作成の媒体をもとに各地域での街頭行動を展開し、公共サービスの充実には処遇改善や人員確保が必要であることを世論に訴えます。

地域アピール行動 全国統一行動日
3月10日(金)



職場からのキャッチコピーコンテスト

キャンペーンのキャッチコピーを募集します。大賞作品は自治労が作成するポスターに採用し、作成したポスターを単組・県本部に配布します(3月中の配布予定)。応募要項(右記QRコードでアクセス可)を参照いただき、奮ってご応募ください。



応募締め切り **2月13日(月)**

組合員全員の投票でスト批准の成功を

自治労は春闘期に政府・自治体および雇用主に対し要求書を提出し、1年の賃金・労働条件闘争をスタートさせます。この批准投票は、年間を通じて一波(1回)につき2時間を上限とするストライキを含む闘争指令権を中央闘争委員会(本部)に委譲することについて、組合員の承認を求めるもので、ストライキを行うための投票ではありません。

投票率そして批准(賛同)率が高いほど要求実現を望む組合員の強い「意志」を示すことになり、交渉にむけての大きな力となります。働き方や職場環境をより良いものとするために、批准投票への積極的な参加をお願いいたします。

2023春闘方針は自治労第163回中央委員会(2023年1月30~31日開催)で確認される予定です。

批准投票 賛否の表示に○を➔

自治労ストライキ 批准投票用紙

1年間のストライキ指令権を中央闘争委員会に委譲します。



◆賛成の人は○、反対の人は×を記入します。
◆○×のないものは無効です。
◆投票結果は中央本部がまとめて発表します。